

**保健活動
一口メモ**



健康支援課
☎ 973-3209



元気いっぱい、日に日に成長していく子どもたち。今日はどんないたずらをしてくれるかな…楽しみだけど、ちょっと心配！子どもの思わぬ行動は、大きな事故につながるかもしれません。

うごともあります。子どもの死因の上位に「不慮の事故」があります。今月は、子どもの事故予防について考えてみましょう。

子どもの発達に応じた対策を

昨日できなかったことが、今日できるようになるのが子ども。子どもの発達段階を知れば、行動パターンを予測できます。その上で、起こりやすい事故の防止策を立てましょう。

子どもにも多い事故の大半は、保護者や周りの大人が目を見守らない等の注意や、安全な環境作りに



**防げる事故から
子どもを守ろう!!**



よって防ぐことができます。

家庭内での事故予防

- ◆**【寝室】**
やわらかい布団での窒息に注意。
- ◆**【寝返り】**
うつようになると、ベビーベッドやソファアなどから転落する事故が多くなります。ベッド柵を必ず上げましょう。

【お風呂場・洗面所】

- ◆**【浴槽】**
洗濯機、バケツ、洗面器にたまったわずかに10cmぐらいの水でも溺れてしまいます。水をためっぱなしにしないようにしましょう。
- ◆**【歯ブラシ】**
くわえたまま転倒すると危険です。口に物をくわえて歩きまわることのないようにしましょう。

【キッチン・リビング】

- ◆**【タバコ】**
灰皿代わりの空缶の中の水を誤飲することがあります。手の届く所に置くことは危険です。

- ◆**【危険なものがある場所】**
冷蔵庫、棚、



電気ポット、炊飯器などは、開けられないよう工夫をしましょう。

- ◆**【テーブルクロス】**
電気コードを引っ張って熱いお茶をかぶったりする等、やけどをする事故があります。テーブルクロスは使用せず、余分なコードは巻き取っておきましょう。
- ◆**【コンセント】**
物を入れ、感電事故を起こしたり、小さな隙間に指や手を挟む危険性があります。市販のコンセントカバーや隙間防止カバーをするなど工夫をしましょう。

【階段・玄関・ベランダ】

- ◆**【転落の危険】**
柵を付けたら、踏み台になるようなものを置かないようにしましょう。

家庭外での事故予防

- ◆**【外出先やレジャー】**
クーパーで持ち手がすべて転落する事故があります。取扱いには注意をしましょう。
- ◆**【道路や駐車場】**
飛び出し防止に、手を繋ぎましょう。
- ◆**【水遊び】**
必ず大人が付いていきましょう。

うるま市健康づくり標語

**「早くねてぐんぐん育つよ
成長期」**

赤道小学校5年 屋嘉比日余里

【自動車】

- ◆**【抱っこ乗車】**
抱っこ乗車は危険です。チャイルドシートは乗車時に子どもを守る必需品です。正しく使しましょう。
- ◆**【乳幼児用の他】**
学童用もあります。6歳未満の幼児を車に乗せる時は、チャイルドシートの使用が義務づけられています。

子どもの急な症状に困ったら、まず

小児救急電話相談

#8000

◆ダイヤル回線、#8000をご利用いただけない地域からおかけの場合は
電話：098-888-5230

◆相談日時：毎日
午後7時～午後11時

子どもの急な症状とケガや事故!
いざというときの対処方法と予防について

みなさんの健康
支え隊講座

講師：県立中部病院 小濱守安医師 / うるま市消防本部 (救急法実践)

日時：2月27日 (土曜日) 14:00～16:15 (受付13:30～)

お問い合わせ：健康支援課 ☎ 973-3209